

# いわき市都市計画マスタープラン

## 南部地区まちづくり計画



いわき市



## はじめに

本市は、広域多核都市の特性を踏まえ、20年後を見据えた都市像を描いた「いわき市都市計画マスタープラン（平成11年3月策定）」における、「環境共生の都市づくり」、「都市ゾーンの形成」、「交流・連携ネットワーク都市の形成」の3つの都市づくりの基本方向に沿って、都市魅力の創出と活力あるまちづくりを目指し、都市基盤や市街地の整備を積極的に推進しております。

近年、地方分権が着実に進展している中で、地域の自主性・多様性を尊重しながら、地域が持つ資源や環境を最大限に活用して、地域の魅力と市民の満足度をより高め、魅力あふれるまちづくりを進めることが求められておりますが、その具現化にあたりましては、市民と行政が情報を共有し、地域像やまちづくりの共通の理念や目標を掲げ、協働により取り組むことが重要であります。

このようなことから、この度、「いわき市都市計画マスタープラン」を具現化するための地区別のよりきめ細かな計画として「南部地区まちづくり計画」を策定いたしました。

本計画の策定にあたっては、地域の実情や特性に即した計画とするとともに、地域の皆様の意見を十分に反映するため、平成13年7月に設立された地域のまちづくり団体である「勿来ひと・まち未来会議」と平成14年3月に、「地区まちづくり計画策定に関するパートナーシップ協定」を締結して、お互いの責務や役割を明確にし、協力関係を築きながら、協働作業を進めて参りました。

本計画では、「勿来ひと・まち未来会議」が広く地域住民の意見や要望などを踏まえ市民提案として作成した「ランドデザイン」を十分に反映し、勿来海岸や鮫川などの恵まれた自然や多様な都市機能の集積を活かしたまちづくりを基本目標とする将来像を描くとともに、それを実現するための具体的な施策の方針や手法等について掲げております。

また、全体の土地利用や、都市施設整備の方針に加え、行政以外の主体との役割分担や事業の具現化に向けた課題、地区別の詳細な計画等についても明らかにしており、今後、市民・企業・行政のパートナーシップによる「協働のまちづくり」を進める上での指針となるものであります。

今後の計画の実現に向けまして、計画策定という協働作業の実践を通して構築された、未来会議をはじめとする地域の皆様との信頼関係や協力関係を継続しながら、まちに魅力を感じ、生活し、住み続けたいと思うような環境をつくりあげるなど、よりよいまちづくりの実現に取り組んで参りたいと考えております。

最後に、「勿来ひと・まち未来会議」の皆様をはじめ、計画策定に参画いただきました多くの方々に対し、心から感謝を申し上げますとともに、身近な地域における市民の皆様の主體的なまちづくり活動の輪が一層広がっていきますことを御期待申し上げます。

平成17年3月

いわき市長 四家啓助

# 目 次

1. 地区まちづくり計画について-----	1
1-1 計画策定の背景と目的-----	1
1-2 対象区域-----	2
1-3 策定の方法-----	4
1-4 地区まちづくり計画の構成-----	5
2. 地区の現況とまちづくりの課題-----	6
2-1 地区の現況-----	6
2-2 まちづくりの課題-----	10
2-3 地区の現況・課題等の整理-----	13
3. 基本方向と将来都市構造-----	15
3-1 基本理念とまちの将来像-----	15
3-2 基本方向-----	16
3-3 将来都市構造-----	17
4. 部門別まちづくりの方針-----	27
4-1 土地利用の方針-----	27
4-2 交通施設等の方針-----	31
4-3 公園・緑地等の方針-----	34
4-4 都市環境の方針-----	36
5. 地区別まちづくり計画-----	39
5-1 地区別まちづくり計画-----	39
5-2 植田地区-----	40
5-3 錦地区-----	46
5-4 勿来地区-----	52
6. 計画の実現に向けて-----	57
6-1 協働作業による事業の推進-----	57
6-2 具現化に向けた取り組み-----	63
6-3 地区別まちづくり事業計画案-----	65
① 植田地区-----	67
② 錦地区-----	73
③ 勿来地区-----	77
[参 考]-----	81
・南部地区まちづくり計画策定に関するパートナーシップ協定書-----	81
・南部地区まちづくり計画策定経過-----	82